

伊勢湾貧酸素情報（第5報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では溶存酸素量が低下しており、湾奥部から湾中央部にかけて2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

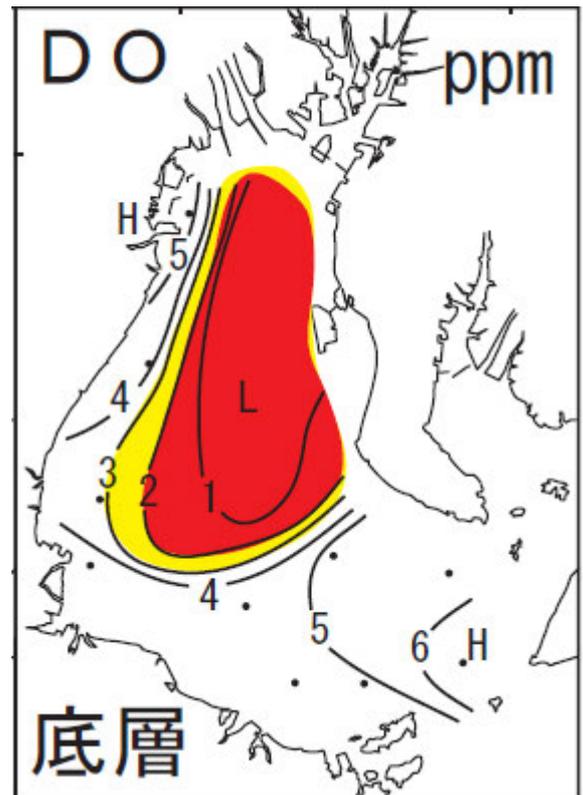
10月1日の調査結果

10月1日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で23.9～24.7℃、10mで24.1～24.7℃、底層で23.2～24.5℃の範囲にあり、表層は平年より高めからかなり高め、10mで高め、底層ではやや高めから高めでした。

DO（溶存酸素量）は表層で7.1～10.0 ppm、10mで4.2～7.7 ppm、底層で0.6～6.4 ppmの範囲にあり、表層と底層は平年並、10mではやや高めでした。

底層では、伊勢湾の湾奥部から湾中央部にかけて2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されていました。

今後、循環期に入るため、貧酸素状態は徐々に解消に向かうものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図